

平成28年5月20日(金)22時40分

平成28年熊本地震災害への対応について（第13報）

## — こころのケア班帰着 —

5月20日（金）から派遣されていたこころのケア班4名は、本日15時3分、帰着を待つ職員が拍手で迎える中、5日間の活動を終えて帰院しました。帰着式で班長の東郷和美(臨床心理士)が活動終了を報告。式後、4名は支部局長、病院長等に現地での活動内容について説明しました。活動日は、連日早朝から22時頃宿泊所へ帰るというハードな日程でしたが、チーム一丸となって活動を行いました。

4月14日(木)の発災から一ヶ月、生活再建の目途が立たず避難所生活が長引く被災者や自らも被災者である支援者へのこころのケア活動が重要となっている中、益城町総合体育館と益城町役場で傾聴を主として56名のケア活動を行いました。特に支援者への支援は今後も必要となっています。

現在、日本赤十字社は医療救護活動を九州ブロックで支援していますが、こころのケア活動は全ブロックで6月中の派遣を確定、引き続き支援活動を継続していくとしています。

### ■ 災害対策本部を廃止 ■

5月26日(木)16時10分、院長は災害対策本部を廃止すると決定。

4月16日(土)にDMAT及び赤十字救護班を派遣、本日、こころケア班帰着まで熊本赤十字病院支援を含め56名の職員が熊本地震災害への救護活動を行いました。



